



## 福井中学校 形部 愛さん 作文コンクールで全国最優秀

福井中学校の形部 愛さん（3年・写真左から2人目）が「北朝鮮人権侵害問題啓発週間・作文コンクール」（政府拉致問題対策本部、法務省主催）の中学生部門で最優秀賞（第1席）を受賞しました。同コンクールは、拉致問題について考えてもらおうと全国の中高生を対象に実施し、1,915点の作品が寄せられました。形部さんは、「拉致被害にあわれた方や家族に思いをはせて綴りました」と話していました。また、特別賞（第4席）を橋本夏都さん（3年・同1人目）、宮田遥奈さん（3年・同3人目）、原田日菜さん（3年・同4人目）が受賞しました。

## 伊島の自然を生かす 波力発電の実証実験を開始

1月27日に伊島で波の力を利用した波力発電の実証実験が始まりました。伊島の自然を生かしたまちづくりを進めることが目的で、本市が阿南高専に委託し開発・実験を進めています。試作機は「潮流型」で、海上に浮かべて潮流によって水車が回ることで電気を起こします。実験当日は潮流が弱かったので、船のプロペラの流れを利用。水車4基が回り、発電を確認するLEDライトが点灯しました。今後改良を重ね実用化をめざします。



## 別府温泉から恩返し 山西さん宅に温泉が届けられる

平成28年4月の熊本地震で被災した大分県別府市が、観光復興したことに感謝の気持ちを伝えるため、トラックで別府温泉の湯を運んで届けています。1月27日には、県内で初めて羽ノ浦町の山西 典さん（61歳）宅に湯が運ばれました。別府市職員が、トラックの保温タンクからホースで約50度の源泉を浴槽に注ぎました。山西さんは湯船に浸かり、別府の湯を堪能。「気持ちいいです。遠路届けていただいて、ありがたいです」と喜んでいました。



## 活動の成果を披露 阿南市生涯学習推進大会を開催

公民館活動や生涯学習活動の成果などを発表する「第28回阿南市生涯学習推進大会」が1月27日に富岡公民館で開催され、約230人が参加しました。大会では、人形劇団プクプクによる公演や阿波踊り健康体操、徳島市西富田公民館館長の岩佐重明さんによる記念講演が行われました。岩佐さんは、公民館活動を推進するためには自ら積極的に行動することはもちろん、地域の運営委員を中心としたネットワークの確立が大切であると話していました。

## 阿南市フェイスブック 阿南市や地域の出来事をいち早くチェック!

市ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.city.anan.tokushima.jp/>



## さらなる一体感の醸成へ 「阿南市民の歌」を収録

市制施行60周年を契機に「阿南市民の歌」のさらなる普及啓発につなげようと、歌と音源の収録を2月4日に文化会館で行いました。阿南市文化協会音楽部に所属する5つの合唱団と「ままプラス anan maman」の皆さんにご協力いただき、少年少女、単旋律、混声4部の合唱曲と演奏曲、ピアノ、吹奏楽の啓発用の映像を収録。貸出用のCDと啓発用の映像を作成し、歌の普及に役立てます。「阿南市民の歌」は昭和41年に制定され、半世紀以上経った今も歌い継がれています。

## 那賀川的环境を考える シンポジウム開催

那賀川的环境再生への取組を考える「全国フィールドシンポジウム in 阿南」（応用生態工学会、国土交通省那賀川河川事務所主催）が、1月27日にひまわり会館で開催され、約150人が参加しました。那賀川河川事務所が、ダム上流の土砂を流下させ河川環境を改善する土砂還元取組を報告。パネルディスカッションでは、健全な河川環境について議論しました。また、大野小学校4年生が那賀川を称える曲「音楽物語 清き那賀川～時を越えて～」を披露しました。



## どんど焼きで無病息災

正月飾りや古くなったお守り、お札などを一斉に焚き上げる「どんど焼き」が1月15日に平等寺駐車場で行われました。設置された1メートル四方の納め所2カ所に積み上げられたしめ縄などの正月飾りに点火すると、炎が勢いよく燃え上がりました。また、どんど焼きで焼いたみかんを食べれば1年間健康でいられると伝えられていて、参加者は無病息災の願いを込めて焼きみかんを頬張っていました。

## 牛岐城趾公園 句碑が建立される

牛岐城趾公園に日本伝統俳句協会理事の岩田公次さん（73歳・小松島市）が詠んだ句が刻まれた句碑が建立されました。岩田さんは阿瀬比町出身で、徳島から全国へ郷土色豊かな俳句を発信し続けています。句碑は高さ約2.5メートルの石製で、句「歩きみる うちにすっかり 冬日和」が刻まれています。2月3日に現地で除幕式が行われました。岩田さんは「俳句をはじめ文化の発展に役立つよう願っています」と話していました。

